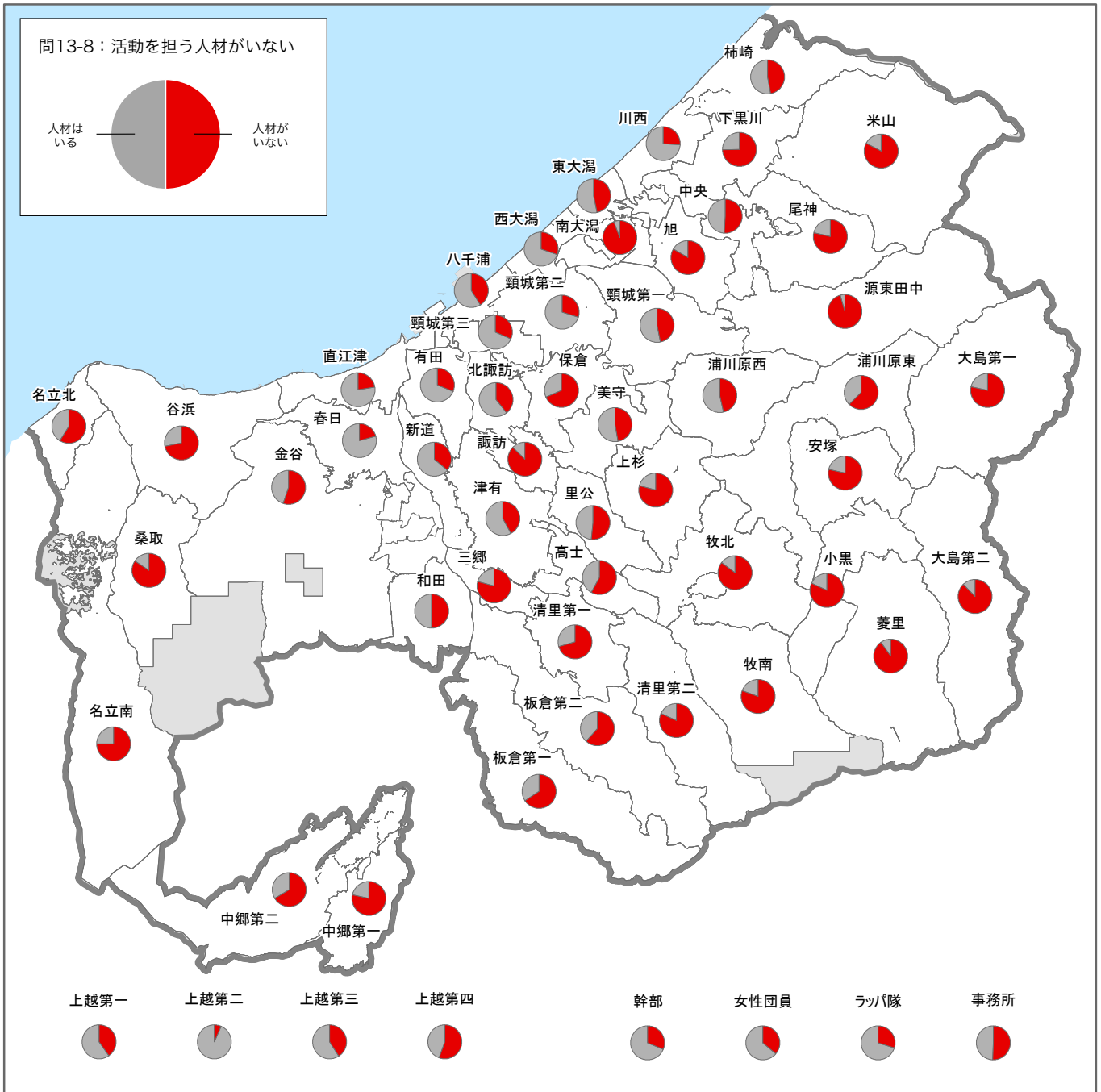


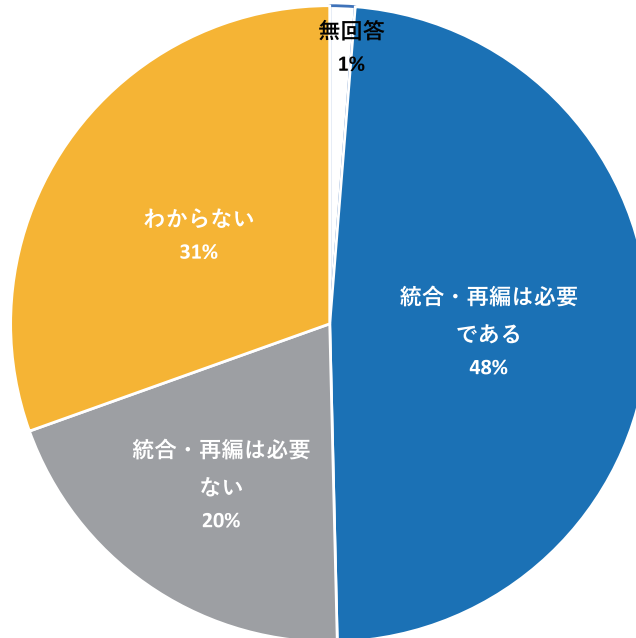
66、67頁に示した問13において「活動そのものに問題あり（橙）」との回答が多かった設問における分団ごとの回答傾向を示す。円グラフは「活動そのものに問題あり（橙）」と回答した団員の割合を示した。



66、67頁に示した問13において「活動を担う人材がない（赤）」との回答が多かった設問における分団ごとの回答傾向を示す。円グラフは「活動を担う人材がない（赤）」と回答した団員の割合を示した。

# 問14

## 消防部の見直しの必要性



### 問14. 消防部の見直しの必要性

#### 1. 質問項目を設けた経緯: 消防部の統合・再編は避けられない

インタビュー調査において、「消防部の統合・再編は将来的には避けられない」との懸念が示された。また、「具体的に地区で考え始めている」との意見もあった。「このままでは活動が立ち行かなくなる」との危機感についても聞いた。

#### 2. アンケート調査項目: 組織の見直し

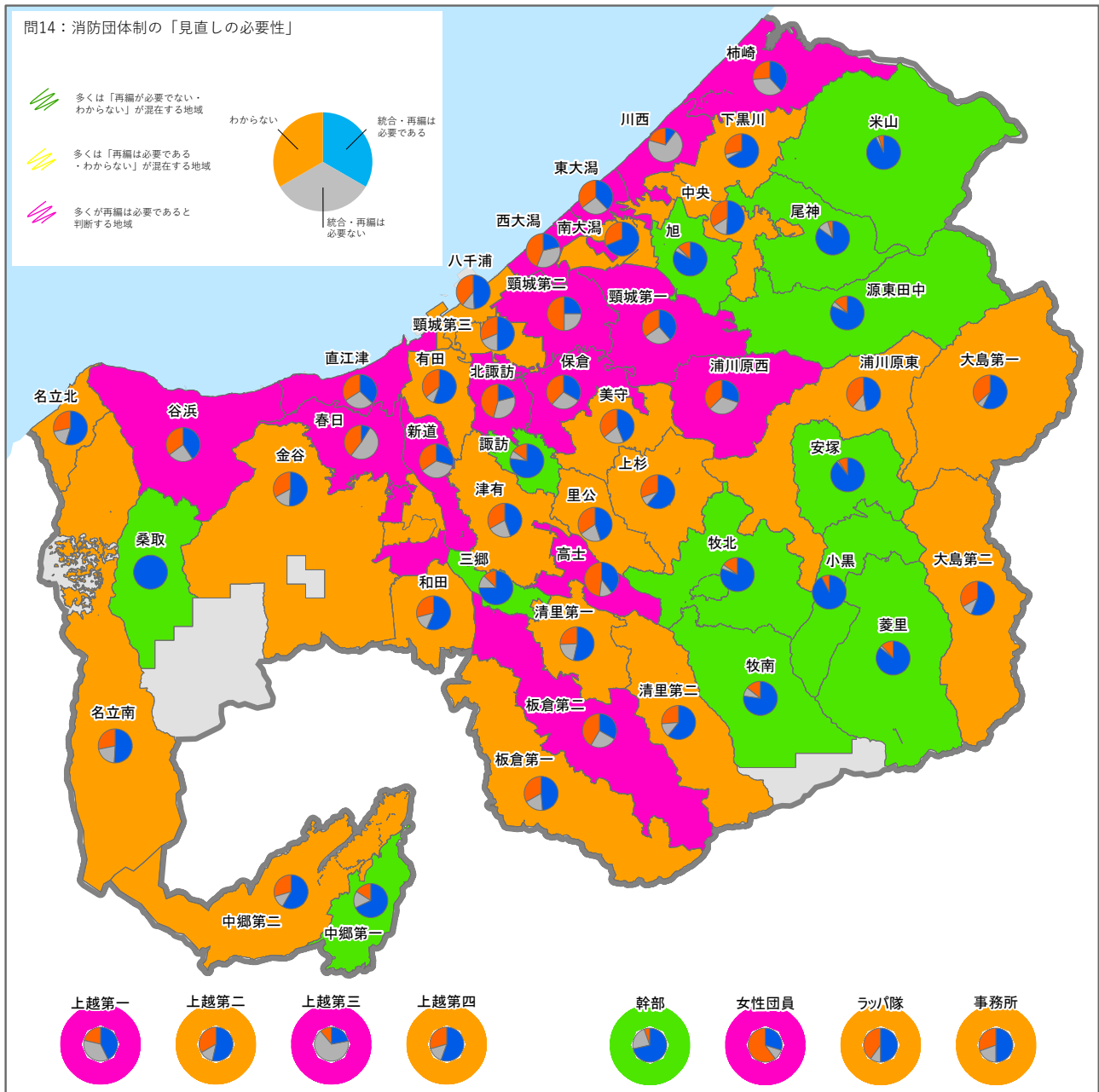
- 組織の見直しに関する質問。(数値は「はい」と回答のあった数) N(総数)=3,452

問14. あなたの所属する消防部の現状において、統合や再編の見直しが必要であると思いますか(1つだけ選択)

・必要である	1,669
・必要ない	687
・わからない	1,052
※不明・無回答	44


#### 3. 調査結果(円グラフ・全体): 「統合・再編が必要である」と答えた団員数が最も多く、一方で「わからない」と答えた団員も多かった

消防部の見直しについて、「統合・再編は必要である」と回答した団員は、全体の48%、ほぼ5割となった。一方で「わからない」とした団員が31%存在した。統合・再編の効果について、不透明感を抱いている団員が3割もいることをふまえ、統合・再編は慎重に進める必要がある。また、「統合・再編は必要ない」とする人が2割存在することから、理解を得る努力を続ける必要がある。



5. 57分団の傾向（不明・無回答は除く）：3つの傾向に分類できる

- 1) 「再編が必要であると多くが考える地域」 18分団  
 (頸城第二、上越新道、上越春日、上越第一、柿崎川西、上越第三、柿崎、上越保倉、上越北諏訪、東大湯、頸城第一、上越直江津、女性団員、浦川原西、上越高士、西大湯、上越谷浜、板倉第二)  
 8～9割の団員が再編が必要であると考えている。
- 2) 「多くが再編が必要である・判断に苦慮する地域」 25分団  
 (ラッパ隊、上越第二、中郷第二、上越第四、大島第一、名立南、大島第二、事務所、名立北、柿崎下黒川、清里第一、板倉第一、浦川原東、三和上杉、三和美守、上越金谷、頸城第三、南大湯、上越津有、三和里公、上越和田、上越八千浦、清里第二、吉川中央、上越有田)  
 再編が必要であると考えてる団員と、再編について判断に苦慮する団員があわせて8割程度いる。
- 3) 「多くが再編が必要でない・判断に苦慮する地域」 14分団  
 (安塚、安塚黒、安塚菱里、吉川源東田中、吉川旭、吉川尾神、上越桑取、上越三郷、幹部、牧北、柿崎米山、牧南、上越諏訪、中郷第一)

A high-speed photograph of a water splash, showing a crown-like structure of water droplets rising from a pool of water. The background is a light, pale blue. The entire image is framed by a dark blue border with rounded corners.

**上越市  
消防団適正配置検討委員会  
調査報告書**